

「聴く人に笑って もらえたときが 何よりうれしい」



いまほり ただくに
今堀 忠国 さん

昭和18年、60歳。
花川北在住。「イワン・イワノビッチ・イマホリ」と自称し、トランペットやギター、ウクレレなどの楽器演奏でライブ活動を行う一方で、軽妙な語り口そのままの文章が人気のエッセイストでもある。

今堀忠国さんが愛用するウクレレには、長いつき合いを物語るように、いくつか弾き傷がある。「これは8代目。初めてウクレレを手にしたのは40年も前になるかな」。からつと笑って、ポロン、ポロロンと軽やかに奏でた。

学生時代はブラスバンド部に所属しトランペットに夢中だったという今堀さんが、ウクレレと出会ったのは高校卒業後、社会人になってまもなくのこと。当時ハワイアンブームが巻き起こっていたことから、演奏歴が1年にも満たなかった

今堀さんも誘われ、気が付くとハワイアンバンドの一員に。以来来たわらにはいつもこの楽器が寄り添っている。

朗らかなのに、哀愁が漂ってくるような音色。ウクレレの魅力は味のある響きに加えて、「これ1本あれば、どこでもどんな曲でも演奏できる」手軽さがあるという。さつそく話すそばからメロディが流れてくる。名曲『ブルー・ハワイ』をはじめハワイアンソングを、続けざまに奏でてくれる。部屋の中に、ワイキキビーチの潮風が優しく吹き込んでくるようだ。

ただし、今堀さんが弾くウクレレはこれだけで終わらない。こうしたロマンチックな旋律とは反対の、想像を超えた愉快な「替え歌」が次から次へと飛び出すのだ。たとえば『君といつまでも』はいつのまにやら『ファイターズ応援歌』となり、最後は「石狩川にダイブしよ



▶愛用のウクレレ。左から種類はバリトン、コンサート、スタンダード。

う「と声高らかに歌い上げてしまう。ドイツ語版『ウクレレ都々逸』といった変わりダネもある。譜面があればどんな音楽でもたちどころにハワイアン風に替えて即興する今堀さん。「聴く人に笑ってもらえたときが何よりうれしい」という。

定年退職後、植樹保林など複数のNPO活動に参画する一方で、週に一度、地域コミュニティイFM局でパーソナリティも務める今堀さんは、生放送で特技のウクレレも披露している。「みんなを楽しませたり、自分の思いを伝えたり…。すべては人とのつながりを大切にしたいと思って始めたことなんです」。

絶えずにこやかに話す今堀さんの原点には、「もてなしとユーモア」の精神があるようだ。人柄も、奏でる音色も、どこかゆったりとして心地よい。

♪花川、親船／八幡、生振
行くぞ 取材／イクラの限り
心やさし／ラララみんなの
ニュースを
サーモン・パワーだ／広報いしかり

今堀さんが『鉄腕アトム』の替え歌をつくって「広報いしかり」を激励してくれた。

▼夏になり、市内の商店街でもお祭りが開かれますね。祭り好きの自分にとっては楽しみな季節になってきました。焼きそば・たこ焼き・焼き鳥・カキ氷…。食べ物しか思いつきませんが、露店の食べ物って、家で食べるより祭会場食べるほうがいじいですよね。皆さんもそう思いませんか？(S)

▼いしかり地物市場がオープンしました。そこでは石狩産の野菜や果物が売られています。どれもおいしいものばかり。私も含め広報担当者は食べ物のことを考えるのが好き？(K&E)

▼樽川ひこぼし公園の時計塔除幕式にて。撮影場所を探している。ふと目に止まったのが滑り台。ウン十年ぶりに上って、その上からシャッターを切っておりましたが、白状すれば久しぶり振り回して見たかったかも。(D)

広報いしかり

■編集・発行／石狩市企画財政部市民の声を聴く課
〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2
Tel.0133-72-3153 Fax.0133-74-5581
【ホームページ】<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp>
【携帯電話用HP】<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/k/>
【Eメール】PR@city.ishikari.hokkaido.jp

■印刷・製本／株式会社アイワード
この広報紙は再生紙を使用しています。
印刷インキは、大豆を利用した植物油インキを使用しています。

